

身近な友人に新米を送ってはいかがですか？「新」がつく食べ物味わうと気持ちが新たに嬉しいものです。

◇ブログもありますのでcosse亀田にて

笑顔でつながる みんなの居場所

cosse亀田からの通信です



発行：郡山市亀田1-11-14

11月号 * N076 2022・10・24

☎ * FAX:024-953-6833



郡山医療生協桑野支部 石井うた

※9月の利用者は184名でした。(縁食は3回10名の参加) *朝どり野菜は4回でした。



庭の木々の葉の色づきに、秋を感じます。秋の豊かな実りを分け合いたいものです。新米や無花果、大根や白菜に栗、リンゴやナシ、水曜日の「朝どり野菜」は楽しみです。

夏の太陽をたくさん抱えて育った野菜は身体を温めてくれます。



「食べ物通信」の読書会での話 地球の4分の3を覆う青い海。生命が誕生

して約40億年海は豊かな生態系を育んできました。その海がいま、人類の経済活動で脅威にさらされています。「海の汚染や乱獲がこのまま進めば、食卓に並ぶ魚介類は30年以内にほとんどが絶滅する」との心配されています。世界の海にこれまでにない異変が起きています。深刻さを増す地球の温暖化、「海のごみ」の激増、魚介類消費の世界的な増加を背景に乱獲、混獲（漁獲対象の種とは別のもの種も漁獲してしまう。小さい個体や様態も捕獲してしまう）などが原因です。今年7月に「NHKスペシャル」は地球の温暖化の進行で進む「海洋酸性化」問題を放映していました。海水は大気中の二酸化炭素を吸収していますが二酸化炭素濃度が高くなると海水が酸性化します。酸性化するとプランクトンが減少すると餌にしている魚介類に影響し生態系が崩れるとのことです。また「2050年には、世界中の海に廃棄されたプラスチック系ごみの重量が海洋生物の重量を上回る」とも。持続可能な漁業を実現するためにも小規模漁業の大きな役割を再認識し、小規模漁業者が主体となって取り組む海業を支え、担い手を確保していくことが不可欠です。漁業も農業も「スモール」がキーワードですね。海には境界線がや壁はありません。世界の海洋で起きていることは私たちの食卓に直結しているとが解りました。

飴と鞭のマイナンバー制度：今の政府は信頼できない。なので私は登録していません。この制度を廃止した国もある。アメリカとイギリスなど……

「縁食」* おりがみあそびの後、ひとりで暮らしている方を中心に7~8人で簡単にみんなでお昼ご飯を食べます。皆さん楽しみにされています。どなたでも、作って食べてもOKですので相談ください



私たちの体は食べたものでできています。地元の野菜や果物を応援しましょう！なし・リンゴなど果物は熱海の安斎農園から来ています。少し小ぶりだったりですが格安で持ってきます

朝どり野菜は冬野菜です。11月も毎週水曜日に来ます。ぜひご利用ください。



裏面に 予定表がありますが変更するすることもあるので電話ください。よろしく

